

第1回車座トーク（5月30日 大田市）でいただいたご意見に
 対する県の対応 テーマ「文化財を活かした地域づくり」

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
※ なし	

2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
※ なし	

3. 既に実施しているもの

いただいたご意見	対応状況
<p>子どもに、本物に触れる体験、地域の財産を学べる場所を提供するような仕組みづくりが大事。</p>	<p>県内全ての公立小中学校の全学年・全学級で、年間35時間以上の地域の教育資源「ひと・もの・こと」を活かした「ふるさと教育」が実施されています。</p> <p>大田市においては、学校における「ふるさと教育」の取組はもとより、公民館等においても、子どもの頃から伝統芸能に関わっていく体制をつくり、地域住民等の協力を得ながら取組を進めているところもあります。</p> <p>また、大田市では、地域資源を活かした教育活動の充実に資するため、新たに大田市に赴任した教員を対象に、石見銀山、サヒメル等を巡る研修会も開催しているところです。</p> <p>今後も、地域資源を活かした教育活動、文化・自然体験の一層の充実に向け、学校・地域両面からの取組を支援していきます。</p> <p>なお、大田市においては、毎年、大田市教育委員会で各公民館の地域資源（地域財産）を活かした「ふるさと教育」の取組などを紹介する冊子「TSUNAGU（つなぐ）」を発行して配布し周知されています。</p> <p>また、県においては、テレビ・新聞・HP等の各種媒体やイベントや研修会等の場を活用して県民の皆様への「ふるさと教育」の周知を行います。</p>
<p>古代出雲歴史博物館での石見神楽展などイベントを実施すると、埋もれていた文化財が発掘され記録が残る。定期的なイベント開催、継続的な文化財調査を望む。</p>	<p>石見神楽を含む県内の神楽の調査研究は計画的に実施してきており、これまでに神楽団体やその関係者への聞き取り等の実態調査を行いました。</p> <p>今年度も実態調査を継続しながら関連資料（台本類、神楽面、衣装等）の所在確認を行っているところです。令和3年度には調査研究の総括を行い、その成果を令和4年度に古代出雲歴史博物館の展覧会で広く情報発信していく予定としております。</p> <p>様々な文化財が良好な状態で次世代に継承されるよう、今後も、文化財の発掘調査や調査研究に努めてまいります。</p>
<p>観光地で盛り上がっているところは、地域の人が誇りを持っている。子どもたちが地域で文化・財産を学べる機会をつくる仕組みづくりが必要。</p>	<p>県内全ての公立小中学校の全学年・全学級で、年間35時間以上の地域の教育資源「ひと・もの・こと」を活かした「ふるさと教育」が実施されています。</p> <p>大田市においては、学校における「ふるさと教育」</p>

	<p>の取組はもとより、公民館等においても、子どもの頃から伝統芸能に関わっていく体制をつくり、地域住民等の協力を得ながら取組を進めているところもあります。</p> <p>また、大田市では、地域資源を活かした教育活動の充実に資するため、新たに大田市に赴任した教員を対象に、石見銀山、サヒメル等を巡る研修会も開催しているところです。</p> <p>今後も、地域資源を活かした教育活動、文化・自然体験の一層の充実に向け、学校・地域両面からの取組を支援していきます。</p>
<p>「神国島根」は出雲だけではない。石見や隠岐も含むトータルでPRしてほしい。</p>	<p>引き続き、しまねの「魅力」や島根らしさ、島根での暮らし方が多くの人を惹きつけ、島根に関心を持ってもらえるよう、国内外に向けた情報発信方法を工夫しながら、石見や隠岐を含めた全県の観光情報発信を行ってまいります。</p> <p>今後はこれまでの「ご縁」に加え、島根の強みである「美肌県」の要素も取り入れ、観光PRに取り組んでまいります。</p>
<p>埋没林施設の価値を市民に分かってもらいたい。特に子どもたちの教育に「これは財産なんだ」と盛り込む。子どもに伝わればその次の世代につながる。</p>	<p>今年度、埋没林施設を訪れた方に埋没林の価値を伝えるためのガイドンス施設を整備しました。</p> <p>これにあわせて、埋没林公園の愛称募集及びPRを実施し、知名度向上に取り組んでいます。</p> <p>地元の小中学校に対しては市町の教育委員会から働きかけてもらい、愛称募集には地元から学校ぐるみで応募をいただいたところです。</p> <p>また、県内全ての公立小中学校の全学年・全学級で、年間35時間以上の地域の教育資源「ひと・もの・こと」を活かした「ふるさと教育」が実施されています。</p> <p>大田市においては、学校における「ふるさと教育」の取組はもとより、公民館等においても、子どもの頃から伝統芸能に関わっていく体制をつくり、地域住民等の協力を得ながら取組を進めているところもあります。</p> <p>併せて、大田市では、地域資源を活かした教育活動の充実に資するため、新たに大田市に赴任した教員を対象に、石見銀山、サヒメル等を巡る研修会も開催しているところです。</p> <p>今後も、地域資源を活かした教育活動、文化・自然体験の一層の充実に向け、学校・地域両面からの取組を支援していきます。</p>
<p>三瓶周辺を観光資源として何とかしたいなら、来訪者が地図がなくともたどり着けるようわかりやすい案内標示が必要。</p>	<p>県道路管理者が整備する三瓶山及び三瓶小豆原埋没林公園への案内標識・看板については、今年度整備を行いました。</p>

4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただくご意見

※ なし

5. 現時点では取り入れることが難しいご意見

※ なし